

研究大会を終えて

岡山県国際理解教育研究会 会長 鳥居 恭治
(岡山市立江西小学校長)

寒い中、第20回岡山県国際理解教育研究大会に多数の方がお越し下さりありがとうございました。

公私多忙の中お越し下さった、岡山県教育委員会教職員課副参事 岩崎政則様、岡山市教育委員会指導課長 天野和弘様、公益財団福武教育振興財団 宮野正司様 佐々木啓文様、そして、当日全国の情報を提供頂いた全国海外子女教育国際理解教育研究協議会 滝多賀雄会長様、ありがとうございました。



また、会場を提供頂き授業を公開して頂きました妹尾小学校の先生方、授業を行って下さった会員の方、参加下さった会員や一般の方々に、心よりお礼申し上げます。

現在、教育には、グローバル人材の育成が求められています。子どもたちが世界に目を向け、世界の中の日本を担っていくことができるような教育が求められています。本会が研究課題としている「多文化理解」「コミュニケーション」のテーマで「自分の意見や存在に自信をもつためには、多から共感を得たり、お互いの存在を認め合ったりすることが大切である」ことを子どもが実感できるように実践していくことがこれにつながると考えます。世界中の日本人学校での経験を生かして、子どもたちが世界で生きること、国際感覚を豊かにすることを通して、国際理解教育を今まで以上に積極的に推し進めていくことができればと思っております。

今回の研究会で、会員がクラスに入り、担任とTTを組んで授業を行うことも1つの有効な方法であると実感できました。他の学校でも少しずつ実践していくことができればと考えています。

昨年からは岡山県の組織を、備前・備中・美作の3地区に分け、それぞれの活動をしていくと同時に県大会も地区開催と決めました。そして、今年度は備前地区が学校を会場として授業公開を含む県大会を開催することができました。来年度は、備中地区での県大会の開催となります。各地区での帰国報告会や活動も始まっています。

また、中国ブロック大会は、本年度が島根県で開催され、来年度は7月29日に鳥取県米子市を会場に開催予定です。平成26年度は、岡山県での開催が予定されています。

そして、今年度から帰国報告会を県教育委員会と岡山市教育委員会の参加を頂き開催できました。都合で帰国者全員の発表にはなりませんでしたが、来年度以降も続けて行きたいと思っております。

会員の地に着いた実践が続きますようお願い申し上げます。